

学校名		佐賀県立唐津青翔高等学校	達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である
1 前年度 評価結果の概要		・全ての評価項目が「おおむね達成できている」という評価だった。地域連携においては連携先の拡大ができ、探究活動の充実を図ることができた。 ・全国募集での第1期生が誕生したが目標入学者数には至らなかった。住環境の整備も含め今後の課題である。 ・3年生の進路決定率は100%を達成することができた。引き続きキャリア教育の充実を図りながら、今後は進学指導にも力を入れた校内体制を確立したい。	
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標		・北部地区唯一の総合学科高校として、多様性を生かすとともに、その特徴を磨き上げ、県内外から生徒を呼び込む魅力的な学びを実践する。 ・デジタルを活用し、実践的でクリエイティブな人材や、国際感覚豊かな人材を育成するとともに、東松浦の資源を活用した地域との協働を通して、地域社会に貢献する人材を育成する。	
3 スクール・ポリシー		アドミッション・ポリシー ・自己と真摯に向き合って将来を考え、進路実現に向け努力する生徒。 ・総合学科の学習に興味を持ち、自己の能力を高め、専門的な知識や技能の習得に努めようとする意欲を持った生徒。 カリキュラム・ポリシー ○学習や行事、生徒会活動、部活動等において、地域と連携・協働した体験活動や探究活動に取り組む。 ○少人数指導や学び直し等を通して、個に応じたきめ細かな指導・支援を実践する。 ○生徒の適性や進路志望に応じた多様な学びができる教育課程を設定する。 ○「産業社会と人間」等を通して、個々のキャリア発達を促すための系統的な教育を実践する。 ○ICT機器を活用した学びや交流、体験に取り組む。 グラデュエーション・ポリシー ○学校や地域での活動を通して一人一人の違いを理解するとともに、自己を管理する能力。 ○地域社会や文化に関心をもち、その中で課題を見つけ、協働的な学びを通して課題解決に取り組もうとする力。	4 本年度の重点目標 ○探究学習の充実、コンソーシアムや地域の学びの場を活用した課題解決学習等の取組 ○唐津青翔高校TSUNAGARUプロジェクトの推進教育課程の見直し、全国募集の推進、交流拠点や自宅外生の生活環境の整備 ○生徒の主体性を育む支援の推進（させる指導から支える指導への転換）

5 重点取組内容・成果指標					中間評価		最終評価		主な担当者		
(1)共通評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○基礎学力向上に向けた、学習習慣定着のための指導の実施 ○きめ細やかな学習指導の実施	○朝の青翔タイム(学び直しの時間)を継続的に行うなかで、基礎的な学力の定着を目指す。 ★「学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている」とする生徒数を75%以上にする。	・職員は早めに教室に行き、8時30分から落ち着いた雰囲気で青翔タイムを始める。 ・少人数学級編成を行う。授業では、少人数指導、TT、学び直し等を実施し個に応じたきめ細やかな指導・支援を行う。							教務	
	○ICT活用教育の実施	○社会に貢献する人材の基礎となる能力の育成のため、1年次生の80%以上が全商ビジネス文書実務検定3級相当の能力を身に着ける。 ○授業の効率化や生徒への多角的支援に向け、ICTを活用して授業を実施している教員を70%以上にする。	・情報 I などコンピュータを利用する授業では授業の導入でタイピング練習を実施する。 ・ICT機器の利活用方法を職員に周知し、利用している職員の意見交換等も行う。							ICT推進	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで「豊かな心を身に付ける教育活動が行われている」と回答する割合を70%以上(生徒・保護者・職員で)にする。	・HR活動では、本校の生徒に理解しやすい内容の講話を行い、感想を書く時間を設ける。 ・事前学習をできる限り行い、メモ用紙を準備する。 ・日々の授業や会話の中でも、生徒に豊かな心を身に付けるための情報を発信する。							教務(道德教育等)	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめの早期発見・早期対応に努めている」と回答した教員を90%以上にする。	・年に3回以上、学校生活アンケートを実施して、いじめの早期発見に努める。 ・全校集会や担任等を通して、いじめ問題やSNS・ライン等の適切な利用について指導する。 ・いじめと思われる場面を気づいた場合、学年主任・担任・教育相談室に報告し、情報を共有し、早期に対応する。							生徒指導部	
	○自己肯定感の醸成	○「自分には良いところがある」と回答する生徒を65%以上にする。	・広報拡大WGとの連携を強化し、公式インスタグラムで生徒会役員や部活動部員の活動様子、対外試合結果等を適時アップする。 ・生徒会が中心となって現状に見合った学校ルールの提案を行い、楽しくて過ごしやすい学校づくりを目指す。								生徒会
●健康・体づくり	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「健康に良い食事をしている」生徒80%以上にする。	・朝食摂取状況調査を行い、学校としてできることを検討したいと考える。日頃のHRでの声掛け、家庭科の授業、保健だよりや食育だより、青翔ニュースなどをとおして、食育を推進し、生徒・保護者の意識を高め、目標を達成できるようにする。また、玄海町に協力していただき、講演会などを行っている							保健部	
	○綺麗で安心・安全な学校づくり	○校内が安心安全な環境となるよう整備点検に努め、ゴミの持ち帰りははじめとする校内環境美化や教室の整理整頓に取り組んでいると感じる人の割合を80%以上にする。	・校内の安全点検を隔月で実施する。 ・各クラス美化係による清掃活動や環境保全活動を実施する。 ・さわやか清掃活動(校内外ボランティア活動)を前、後期各1回実施する。								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○教職員の年次休暇取得平均日数を14日以上とする。	・定時退勤推進日に限らず積極的に定時退勤を勧め、日頃から計画的な年次休暇の取得を呼びかける。 ・職員一人一人が日常業務におけるタイムマネジメントを行い、適正なワークライフバランスとなるように業務改善の意識を高める。 ・「ゼロの日」に交通安全、インシデント防止の注意喚起を行う。							教頭	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教職員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する意識が向上したと回答する教職員を80%以上にする	・授業のUD化の促進や特別支援教育に関する研修会の実施 ・関係者間での情報共有の場の設定							保健部(特別支援)	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★SAGA唯一無二の学校魅力化促進事業の促進 ・生徒の県外募集(県境対策)の促進 ・生徒の全国募集の促進 ・カリキュラムの磨き上げによる新しい教育内容の実現	・県外入学者数近隣県2名 ・全国募集入学者数5名 ・授業内容・学校生活に満足する生徒を増やし「自分の学校を中学生に勧めることができる」とする生徒を75%にする。	・学校公開日に唐津青翔高校でしか学べないeスポーツやゲームプログラミングの体験会を実施。 ・県外での個別相談会を実施。 ・学びの魅力を強くPRする広告の作成・発信。 ・生徒の成長度を可視化するポートフォリオの作成。							教頭・主幹教諭・企画部 進路・教務・学年・系列	
	★TSUNAGARUプロジェクトの推進 ・進学指導と進路につながる探究学習の研究 ・祭/交流拠点の整備、域外生の生活環境の整備	・魅力化評価システム「地域の人や課題などにじかに触れる機会がある。(70%)」 ・域外生のホームステイ型下宿先確保「2軒」	・教務部・進路指導部・企画部とプロジェクトチームを編成し、こまめに協議を実施。 ・「産社」「総探」と各系列の学びを系統的に繋いだ授業を実施する。 ・系列授業を中心として、地元イベントへの参加や住民との積極的 ・キャリア教育支援事業や企業、地域等の力を活用した講習やガイダンスを実施する。 ・来客対応を丁寧に行い、情報を提供し、生徒の意識向上を図る。 ・面接指導や進路検討会を充実させる。 ・大学進学希望者のための対策を検討し、実施する。							教頭・主幹教諭・企画部 進路・教務・学年・系列	
○キャリア教育・進路指導	◎キャリア教育の充実による進路意識の向上 ○大学進学指導体制の構築	○キャリア教育に関する年度末の調査で、「働くことの意義について考えることができた」と回答する1、2年生の割合を80%以上とする。 ○3年生の進路決定率を100%とする。	・SNS、YouTube等での配信をこまめに行う。 ・動画の作成を中心に学校の魅力を在校生の声を通して地域や中学生に伝える。 ・学校広報関連(HP・パンフレット・青翔ニュース)を充実させる。 ・オープンスクールの広報を玄海町や企業と連携し、効果的に行う。							進路指導部	
○広報の充実	○県内外の中学生、保護者に選ばれる効果的な広報の検討と実践	○公式インスタグラムのフォロワー数を1200人以上にする。 ★学校評価アンケートで「中学生・保護者に選ばれる効果的な広報を検討し、実践している」と回答する保護者を75%以上にする。								事務長・主幹教諭・企画部・事務部	

●・・・県共通○・・・学校独自◎・・・志を高める教育★・・・唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--